

最新掘孔機の紹介

興味あるブダ・ハブロン・アースド・リルに就いて

迅速なる作業と

至極輕便なる穴掘機械

時間、勞力、費用の節減を圖り完全なる能力増進の實を擧げんとする事は時代の要求である。殊に勞銀の高い米國では有ゆる作業に自働的機械力を應用して右の三大問題の解決を計るに没頭して居る。今此處に紹介せんとする所の穴掘機械は米國イリノイス州シカゴ市郊外にあるブダ會社の製品であつて、本會社は創立約五十年以上に亘る長い歴史を有する米國有數の大會社で、主として鐵道用諸機械器具及ガソリンエンジンの製造を爲しつゝある會社である。

問題の本機は鐵道或は國道沿線に建てる電柱の穴掘り或は近代的ビルディング建築工事に或は又ブラスト・ホール工事其他種々の基礎工事に使用して輕便迅速に目的を遂げ得る穴掘り機械である。今其機能狀態を簡単に記述すれば

操作狀態

ドリルには最大型直徑二十吋迄の穴を掘り得る大少型あり、下端にチャック、ヴァルブがあつて其下部に螺旋形のカッターが附けてある。チャックの上部ドリルは良く研ぎ上げてある。

カッターはマンガニース・カーボン・ステールで作られた頑丈鋭利なるカッターであ

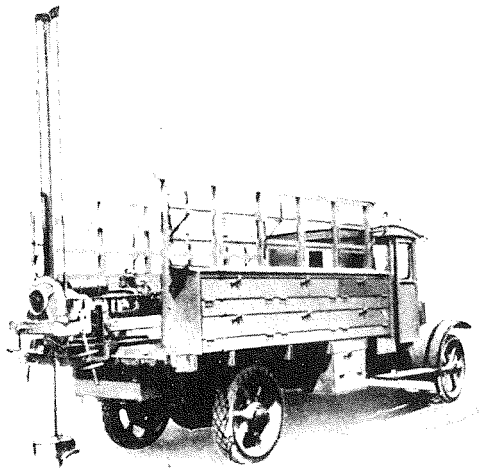
る、ボルトで締め付けてあるから交換は自由自在に出来る。此チャック、ヴァルブ装置により掘られた土砂は穴に逆戻りせず二尺位此チャックの上に盛り上りたる時はエンジンの廻轉を中止して引上げクラックに依り地上に引き揚げて再びエンジンを廻轉すれば土砂全部が地上に振り落さるゝのである。ブラスト工事用には特別裝置を有するチャック、スピンドルを使用するのである。

操作能力

搾孔力には土質の如何により其速度を異にすれども、其硬軟如何を問はず水中にても容易に搾孔する能力がある。普通直徑十八吋深六尺の孔を三分乃至五分間にて完全に掘る事が出来る。國道沿線に十四吋の孔を四尺の深さに掘つて電柱を建てるのに一日平均四五十出来たと云ふ。又ブラストホール工事に一時半の孔を深さ十五尺迄

掘り下げる事が出来て、一日間總延長百四十八尺乃至百八十八尺進捗する事が出来たこの話である。

此ドリルの重量は千四百封度あり、幅四尺の二輪車止に裝置してあるから運搬は自由自在である。又トラックの後部にも設備する事



(1) The Buda-Hubron Earth Drill.

(2) アースドリルをトラックに裝置したる景にして到る所で直に穴をうち又直に他に轉じ得るものである。